

比内

【ひないどり】

鶏



〈秋田比内鶏〉

比内地鶏のルーツ「比内鶏」

「比内鶏」は、江戸時代から比内地方（秋田県北部地方）で飼われている鶏で、当時は、その美味しさゆえに、年貢として納められていたほどでした。

昭和17年には、学術的な価値を認められ、国の天然記念物に指定されています。

「比内鶏」と「秋田比内鶏」

観賞用として維持・保存されてきた「比内鶏」と、肉用として長年にわたって育種選抜等の改良を行ってきた「比内鶏」は、遺伝的には同じでありながら、外貌に違いが生じてきたため、平成18年の地域団体商標申請を機に、肉用の「比内鶏」を「秋田比内鶏」として、観賞用と肉用を区別しております。

比内地鶏

比内地鶏の生き立ち

比内鶏と比内地鶏

天然記念物に指定された比内鶏を適切に保存しながら、比内鶏の持つ肉質や食味が良い等の特徴を持った食用の鶏を作出するため、比内鶏の育種選抜と交配する鶏について研究を重ねてきました。

その結果、「秋田比内鶏」を父に、母にはロード種を交配した「比内地鶏」が誕生しました。



秋田比内鶏

♂



ロード種

♀



比内地鶏